

## 9 住環境

住環境については、居住形態、住環境に対する満足度ともに、年収階層によって差がみられました。居住形態については、年収が低い場合、持ち家の割合が低く、民営や公営の賃貸住宅の割合が高くなっていました。

住環境に対する満足度は、国土交通省が行っている住生活総合調査の質問項目を活用したものです。結果からは、多くの項目において年収階層による差が明確にみられました。特に、子どもを育てる場合に影響が大きいと思われるスペースの広さや遮音性などで差が顕著にあることが分かりました。また、住宅の断熱性は旭川市では住環境の重要な点ですが、経済的な格差が明確に伺えました。安全性（災害や防犯性）についても、差が顕著にあることがあることが伺われます。

### (1) 住環境

#### ①居住形態

〔小2/小5/中2/高2 保護者〕

あなたは、どのような住宅にお住まいですか（○は1つ）。

居住形態は、年収が低くなるにつれ「民営・道営・市営住宅などの賃貸住宅」の割合が高く、逆に「持ち家」の割合は低くなっています。

〔年収階層別〕

(単位：人、%)

| 年収区分            | 持ち家            | 民営の<br>賃貸住宅    | 道営・市営<br>などの<br>賃貸住宅 | 社宅・<br>公務員<br>住宅 | 住宅に<br>間借り  | その他         | 無回答         | 合計              |
|-----------------|----------------|----------------|----------------------|------------------|-------------|-------------|-------------|-----------------|
| 0~250<br>万円未満   | 224<br>27.5%   | 379<br>46.5%   | 89<br>10.9%          | 5<br>0.6%        | 39<br>4.8%  | 35<br>4.3%  | 44<br>5.4%  | 815<br>100.0%   |
| 250~500<br>万円未満 | 1,479<br>56.1% | 802<br>30.4%   | 166<br>6.3%          | 25<br>0.9%       | 45<br>1.7%  | 69<br>2.6%  | 49<br>1.9%  | 2,635<br>100.0% |
| 500~750<br>万円未満 | 1,479<br>76.7% | 300<br>15.6%   | 15<br>0.8%           | 75<br>3.9%       | 15<br>0.8%  | 21<br>1.1%  | 24<br>1.2%  | 1,929<br>100.0% |
| 750万円<br>以上     | 1,292<br>83.1% | 162<br>10.4%   | 2<br>0.1%            | 64<br>4.1%       | 3<br>0.2%   | 18<br>1.2%  | 14<br>0.9%  | 1,555<br>100.0% |
| 合計              | 4,474<br>64.5% | 1,643<br>23.7% | 272<br>3.9%          | 169<br>2.4%      | 102<br>1.5% | 143<br>2.1% | 131<br>1.9% | 6,934<br>100.0% |

#### ②住環境に対する満足度

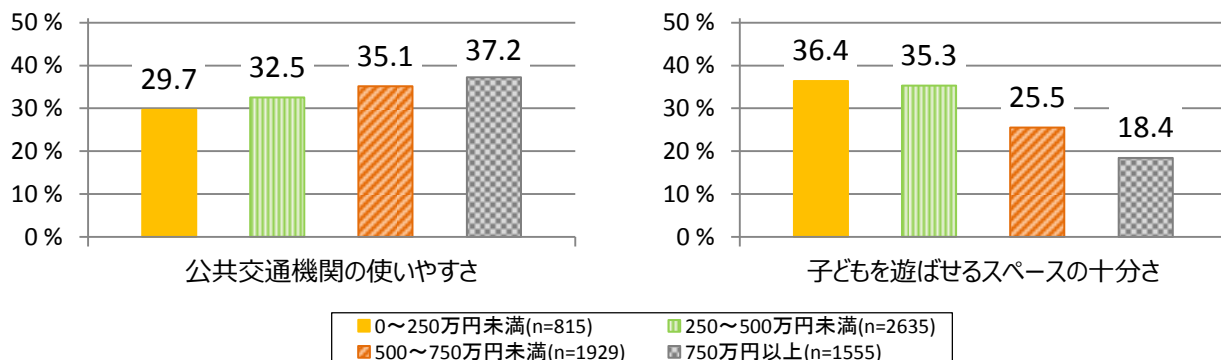
〔小2/小5/中2/高2 保護者〕

あなたがお住まいの住宅について、どのようにお感じですか。①~⑯のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

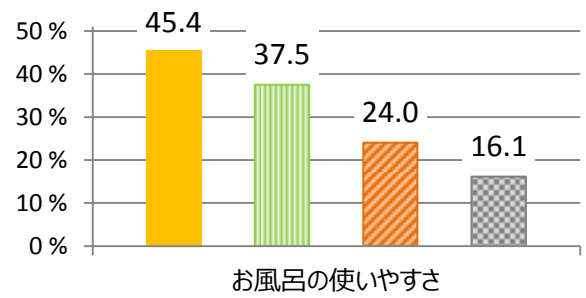
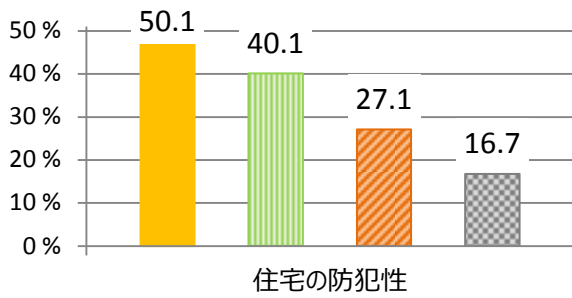
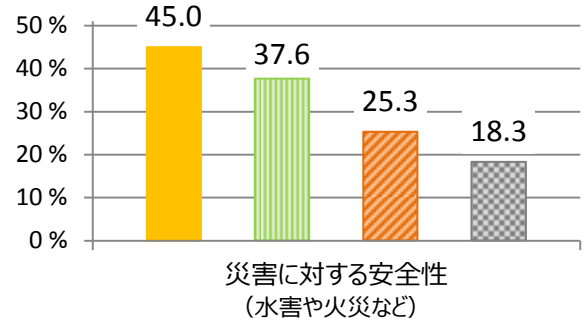
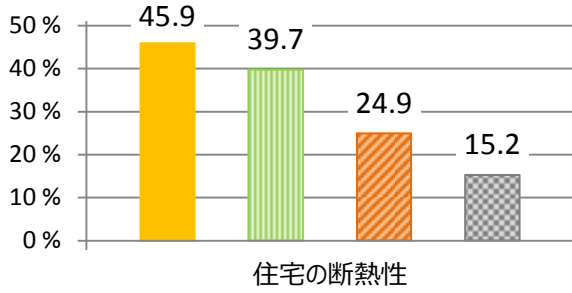
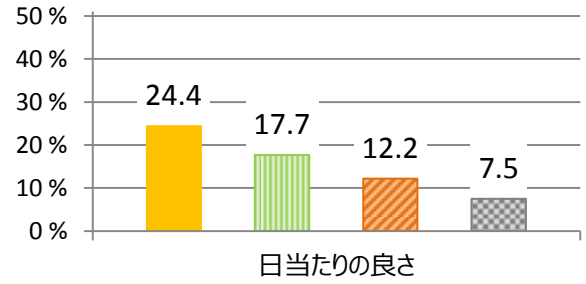
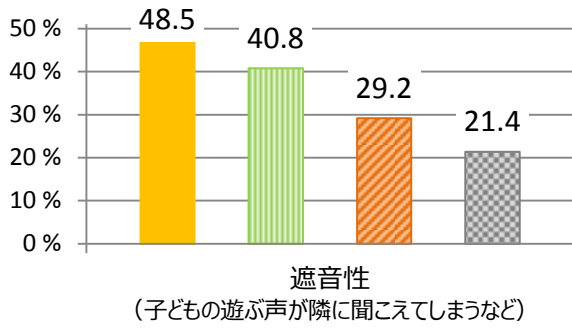
※報告書では一部のみ掲載

住宅の遮音性や断熱性などの住環境に対する満足度については、年収が低くなるにつれ「不満」「やや不満」とする割合が高くなっています。

〔年収階層別〕「不満」「やや不満」を集計



〔年収階層別〕「不満」「やや不満」を集計



■ 0~250万円未満(n=815)
 ■ 250~500万円未満(n=2635)
 ■ 500~750万円未満(n=1929)
 ■ 750万円以上(n=1555)